

平成21年度  
事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	四條畷市商工会	
	代表者職・氏名	会長 東口 邦雄	
	所在地	〒575-0052 四條畷市中野3-5-23	
	担当者	職・氏名	経営指導員 宮迫修一
		連絡先	電話番号(直通) : (072)879-1656
Fax : (072)879-1880			
E-mail : <a href="mailto:miyasako@nawate-sci.or.jp">miyasako@nawate-sci.or.jp</a>			
設立年月日	昭和45年4月13日		
職員数 (うち経営指導員数)	6名(5名)(平成22年3月31日)		
所管地域	四條畷市		
管内事業所数	1,919(平成18年度事業所統計調査による)		
管内小規模事業者数	1,482( " )		
会員数(組織率)	965(50.2%) 平成21年4月1日		
については直近の数字を記載のこと			
主な事業概要(定款記載事項等)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</li> <li>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、提供すること。</li> <li>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</li> <li>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</li> <li>(5) 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。</li> <li>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</li> <li>(7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</li> <li>(8) 行政庁等の諮問に応じて、答申すること。</li> <li>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</li> <li>(10) 商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務(その従業員の為の事務を含む。)を処理すること。</li> <li>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</li> <li>(12) 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</li> <li>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</li> <li>(14) 輸出品の原産地証明を行うこと。</li> <li>(15) 前各号に掲げるもののほか、本商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</li> </ul>			

# 各種データ

四條畷市商工会

## 経営指導員の相談

相談区分 業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	1	42	1	24	21	30	12	0	0	0	131	61	社 社
建設業	0	36	0	34	27	27	3	0	0	1	128	65	
小売業	0	74	0	31	19	13	6	0	0	1	144	80	
卸売業	0	2	0	0	3	2	1	0	0	0	8	5	
サービス業	0	74	0	48	55	17	9	0	0	0	203	102	
その他	0	13	0	11	9	5	4	0	0	0	42	30	
小計	1	241	1	148	134	94	35	0	0	2	656	343	
創業											0		
合計	1	241	1	148	134	94	35	0	0	2	656	343	318

※その他の内訳

〔 地域ブランド展開事業 2件 〕

相談区分 業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	0	74	1	32	55	110	11	0	0	0	283	82	社 社
建設業	1	65	0	48	77	168	1	0	0	1	361	132	
小売業	0	54	0	14	52	53	3	0	0	0	176	87	
卸売業	0	6	0	2	7	2	0	0	0	1	18	7	
サービス業	0	99	0	26	89	148	5	0	0	1	368	133	
その他	0	18	0	11	42	17	3	0	0	0	91	47	
小計	1	316	1	133	322	498	23	0	0	3	1,297	488	
創業											0		
合計	1	316	1	133	322	498	23	0	0	3	1,297	488	417

※その他の内訳

〔 地域ブランド展開事業 3件 〕

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など

注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

## 四條畷市商工会

### (1) 事業の目標

従来から取組んでいる地域活性化事業としての「商工まつり」や「地域ブランド展開事業」の充実を図る。特に「地域ブランド展開事業」については前年度、大きな成果を上げることができた。本年度も重点事業として地域住民及び地域事業者への周知を図り更なる前進を図る。また不況による小規模事業者の業績が、日々悪化し続けている点、更に大型スーパーの進出が予定されており地域小規模事業者が危機感を感じているため、地域内での購買力促進を図る。また併せて従来から小規模事業者にとっての恒常的な課題（金融・税務・労務など）についても一層、細かく相談・支援に依拠していくことを目標とする。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

1. 小規模事業者への恒常的な課題（金融・税務・労務など）を吸い上げきめ細かく相談に依拠して行く他、専門的コーディネーターの積極的に活用する。
2. 地域内での購買力促進事業としては「定額給付金」の地域還元への支援を行う。またそれを効果的に推進するため地域共通商品券をエコポイント交換対象に認定するための手続きを行い、認定を受けることができた。
3. 創造ファンドを活用した「地域ブランド展開事業」による製品・地域産品の開発と各種のイベントへ参加し周知することで四條畷ブランドの更なる浸透を図った。

### (3) 事業を実施した効果

小規模事業者による地域ブランド展開事業等の地域活性化事業は当初、方向性が定まらず試行錯誤の繰り返しで苦心したが、イメージキャラクター「くっすん」の誕生を契機に地域ブランド産品が地域住民に対して認知度が浸透していくようになった。その過程で参加事業者の意欲も高まり、結果的には地域活性化に効果があったのではないかとと思われる。

また、不況による売上高の大幅な減少による収益の悪化に係る課題対策として「定額給付金」活用・エコポイント交換支援を実施したがかなりの地域商品券への交換が行われ地域での経済効果は上がった。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

地域ブランド事業は大きな前進を遂げたが「くっすん」の使用権利の問題等が新たに出てきた。また今後この「くっすん」を用いた各種製品開発・販売の過程においてデザイン変更等の問題も生じた。

更に少人数の事務局全員で「地域ブランド展開事業」に取組んだ結果、小規模事業者の恒常的な課題解決力が希薄になったことが大きな問題点として浮かび上がった。

また定額給付金制度は一過性のものであり、大型小売店舗は平成25年には誕生する予定なので新たな対策が必要である。

### (5) 来年度への取り組み

自発的に成長を目指す事業者への密着した支援活動を中心として活動していく。また地域活性化事業としての「商工まつり」や「地域ブランド展開事業」の更なる取組みと不況による小規模事業者の業績が、日々悪化している事の課題解決が必要である。更に従来から小規模事業者にとっての金融・税務・労務等の恒常的な課題解決も両立を実現する体制を検討したい。

## 四條畷市商工会

### I 一般経営相談・情報提供事業

#### 支援のポイント・成果

目標値は巡回指導件数750件（稼動日数50日×3件×5名）、窓口指導件数1,020件（稼動日数68日×3件×5名）として設定した。きめ細かなワンストップサービス相談を目指し、専門的な相談については、大阪府商工会連合会・北河内地域中小企業支援センター及び地域力連携拠点事業と連携することにより解決の指針とした。1週間の始めには指導員ごとに重点指導事項を確認して「巡回・窓口指導」に活かした。数値的には巡回相談が目標値マイナスとなったが地域活性化事業に重点をおいたことによる影響があったと思われる。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
巡回相談	相談件数	750	656	87.5%	60.0	3
窓口相談	相談件数	1,020	1,297	127.2%	80.0	4

### II 課題別経営相談支援事業

#### 支援のポイント・成果

中小企業者（特に小規模企業者）の経営改善に必要な金融・税務・記帳・労務・法律・事業承継について個別に支援を行う。地域中小企業者の経営課題の解決方法として金融・適正な税務指導・労務等の支援を実施することで、事業経営の安定化を図り、満足度を高める。当該支援事業において通年で、相談需要の多い下記金融等の各事業を関係官庁・専門家との連携により、迅速で的確な対応ができる様、定例相談又は臨時的相談機会を設けることにより、小規模事業者の求める経営相談に応え一定の成果を得た。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
金融支援	継続	件数	35	39	111.4%	90.0	4
記帳支援	継続	件数	19	19	100.0%	70.0	4
税務支援	継続	件数	20	20	100.0%	70.0	4
労務支援	継続	件数	30	10	33.3%	50.0	3
法務支援	新規	件数	10	7	70.0%	60.0	3
事業継承支援	新規	件数	12	2	16.7%	50.0	2

### III 専門人材等連携促進事業

#### 支援のポイント・成果

時代さう勢又は事業所の求める課題等をテーマに取り上げて平成21年度のセミナーを実施した。指標を「延べ参加者（受講者）」に上げ実施したものの、労務・財務・IT関連セミナーに比較して会計・税務関連での参加者が数値を大幅に下回った。これは、これまでこれらの継続したセミナーが定着したと考え、集団より個別の指導を求める小規模事業者のニーズが高いからと考えられる。今後、アンケートの実施によるセミナーの内容を吟味し、よりタイムリーなセミナーの開催に努める。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
	労務セミナー	継続	延べ参加者	20	41	205.0%	76.0	3
	財務セミナー	継続	延べ参加者	15	11	73.3%	86.0	4
	IT関連セミナー	継続	延べ参加者	20	12	60.0%	85.0	4
	会計ソフトセミナー	継続	延べ参加者	20	6	30.0%	95.0	4
	e-Taxセミナー	継続	延べ参加者	20	7	35.0%	90.0	4
	決算説明会	継続	延べ参加者	20	9	45.0%	81.0	4

### IV 地域活性化事業

#### 支援のポイント・成果

「地域ブランド展開事業」を更に前進させるためにゆるキャラの普及、ゆるキャラグッズの開発を図る。また地域資源を利用した産農連携による産品を開発する。また「なわてふれあい商工まつり」の開催により小規模事業者のための各種相談支援の実施・産学連携・事業者交流・販路拡大等を実施することにより地域全体の活性化を推進する。そして販路開拓支援事業として「勸業展」等の各種展示商談会等への出展を促し商談機会を提供する。「地域でお買い物展開事業」においては「定額給付金」の地域への還元支援、並びにエコポイントの地域商品券への交換支援を図り、地域商業者への売上高増加のための積極的支援を行う。また、初めての事業として阪南市商工会・岬町商工会と連携し、「CBの広域啓発・支援事業」を実施し、CBへの支援を実施する

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度（点）	事業評価
	地域ブランド展開事業	継続	参加事業所数	50	45	90.0%	75.0	4
	地域でお買い物事業	新規	販売高（千円）	150,000	177,793	118.5%	80.0	4
	商工まつり事業	継続	参加事業所数	240	320	133.3%	65.0	3
	販路開拓支援事業	新規	参加事業所数	2	4	200.0%	80.0	4
	CB支援事業	新規	参加事業所数	20	19	95.0%	50.0	3

四條畷市商工会

事業名	地域ブランド展開事業				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	19 年 (開始) ~ 22 年 (終了)		今年度 3 年目		
実施期間全体を通じて予定している事業計画	ブランドロゴ及びゆるキャラグッズの開発・普及、地域観光資源の開発・製品化及び地域農林水産物資源の開発・製品化等、地域資源を探り、これにより製品開発を行い、事業化を図ることにより地域の活性化に資する。なお同事業は四條畷市商工会異業種交流会が実施主体となっている。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	平成19年度に観光資源「室池」をデザイン化したブランドロゴ製作。及び地域資源である「天然水」を活用した「地ビール/うまあっせ」を開発、製造を行った。平成20年度は公募により地域のイメージキャラクター「くっすん」が誕生した。これに伴い、この「くっすん」を中心にブランド事業を展開することとなりトートバッグ、今昔カレンダー、クッキー等の試作開発行うことができた。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	市の全産業1,919事業所の内、第3次産業が1,587事業所と全体の82.7%を占め、続いて第2次産業が328事業所の17.1%そして残りが第1次産業という典型的な住宅都市の産業構造となっている。製造業、小売・卸業、サービス業の集積地域はなく、各地域内に散在している。有名な地場産品は無く、行政方針も観光都市化を目指しており、土産物等の地場産品の開発が急がれている。				
目標に対する実績	指標	事業者数			
	目標数値	50	実績数値	45	達成率 90.0%
目標	前年、取組んだ試作品の製品化を目指して上記の数値目標を達成する。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	各種イベントにおいてブランドPR及び試作品販売を実施した。 御堂筋kappo(10月) 市民の集い(10月) 商工まつり(11月) 農業まつり(11月) 商工会創立40周年記念式典(2月) 第二京阪開通記念イベント(2月) 楠公まつり(3月)				
マスコミ等に取り上げられた回数	8回				
PR方法とその影響	商工会広報誌・商工会ホームページ 四條畷市報・四條畷市ホームページ ケーブルテレビ				
実施した効果	利用者満足度(点)	75			
	事業評価	4			
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	地域ブランド展開事業において開発中の試作品の製品化が期待され、これにより販路計画等が進んでいくものと考えられる。これに伴い、消費者も巻き込み、地域全体の活性化につながると期待される。				
事業全体の収支状況	収入		支出		
	小規模補助金	3,600,000円	経営指導員活動費	3,600,000円	
	ブランド収入	650,000円	ブランド開発費	2,380,000円	
	創造ファンド助成	1,000,000円			
	事業費より繰入	730,000円			
	計	5,980,000円	計	5,980,000円	